

【活動概要】

多面的機能の維持・発揮活動 【農村環境部門】

ふたごちいきしげんほぜんかい
二子地域資源保全会(安濃町)

田んぼが有する多面的機能「田んぼダム」 で地域で守る活動を！

活動の状況 (認定農用地面積A=17.43ha)

二子地域資源保全会は、40名の構成員のうち2者が認定農業者であり、安濃町の担い手で組織する協議会の会長及び副会長を有する組織です。

当組織では、組織として又農業者として何か社会に貢献できることはないかと考え、近年の異常気象のひとつである局地的豪雨や台風等による洪水被害に備え、平成28年度から、「田んぼダム」の取組を行なっています。

「田んぼダム」とは、大雨時に田んぼの排水柵にセキ板を加え、雨水を一時的に田んぼに溜めて、ゆっくりと排水することで一度に川に流れる水量を減らし、下流域の洪水被害に備える活動ですが、安濃町川西の農業者である中山忠男さんが開発に携わった「ガルバリウム鋼板のセキ板」を使用することにより、大雨時の田んぼの水位調整が容易になったことに加え、通常の営農時の水位調節や排水柵の管理についても作業効率が格段に良くなったとの声がこの活動を通じ農業者から聞こえています。

田んぼダムから始まった 「ガルバリウム鋼板のセキ板」で、 通常営農時の作業効率もUP！

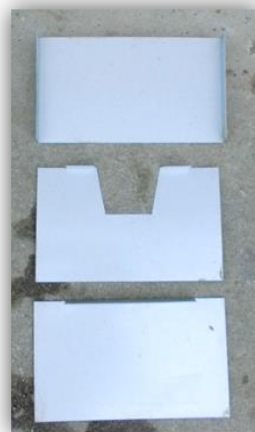
ガルバリウム鋼板とは、建築資材として使用されることが多い、アルミニウムと亜鉛の特徴を併せ持った耐久性に優れた鋼板です。

従来の田んぼダムのセキ板は木の板でできており、大雨時には通常営農時の水位調節をするセキ板の上に乗せて田んぼからの水の流量を調節していました。

今回開発された「ガルバリウム鋼板のセキ板」は、三枚のセキ板を重ねて使用し、排水柵の切り欠けの溝を使用せず、排水柵の前面の土の部分に差し込んで田んぼの水をせき止めます。水位調節はセキ板をスライドさせて調節するのですが、三枚重ねても非常に薄いため、容易に土に差し込めて、スライド調整も容易に行うことができます。また、スライド調節するセキ板の上部には、折り返しのツメがあり、水位調節をする際に、くわ等の農具をそのツメに引っ掛けたり、上から押し込んだりすることで立ったままの姿勢で容易に水位調節を行うことができます。この仕組みは田んぼダムのセキ板だけでなく、通常営農時の水位調節をするセキ板にも採用されているため、通常営農時の水位調節の作業効率も格段に良くなりました。



前三枚の重
んだ土ね
で使
用部
排水
し分
まに
柵
す。差
の



田んぼ側の板は、コの字型になっており、泥の流出を防ぎます。

真ん中の板は、V字に切っており、ゴミの詰まりを防ぎます。

水路側の板は、V字の幅を調節して、水位の調節ができます。

※農委だより第27号H29.6より抜粋